



WILDERNESS ADVANCED FIRST AID (WAF A)

ウィルダネス・アドバンスド・ファースト・エイド コース

WILDERNESS ADVANCED FIRST AID (WAF A) コースはアウトドア愛好家やアウトドア・リーダーのためにデザインされた、総合医療トレーニングです。内容においては、通常の野外救急法と違い、生命を脅かす重要な身体機能の問題や障害、環境条件でおこる問題などの特定・対処に重点がおかれている点です。アメリカ・カナダといった北米はもとより、世界のアウトドア愛好家・リーダーが資格を取得しています。アメリカのWILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES(WMA) <http://www.wildmed.com/index.htm>よりインストラクターを派遣していただき、コースを開催いたします。

日本で救急法と言えば、都市部を想定とした心肺蘇生法が一般的に知られており講習会も様々な団体によって行われております。しかしながら、現状では、野外や緊急車両に引き継ぐまで時間のかかる野外環境下を想定した、体系的な野外救急法が確立されていないのが現状です。実際に、野外にいる際には心肺蘇生法を行うよりも、様々なけがや病気に対処することが多く、その中でも緊急を要し、素早く対処することが、人命や後遺症を防ぐこととなるケースも少なくありません。しかし、そういった医療知識を含めた勉強をすることができるのは、医療関係者に限定されています。

今回のWAF Aコースは、野外環境下を想定し、最新の医学知識や根拠をもとに医療関係者と野外活動のプロフェッショナルによって体系化された、30年以上もの歴史のある野外救急法です。現在、日本では学ぶことのできない、野外先進国であるアメリカの最先端の野外救急法を学び資格を取得できるものとなっております。



WILDERNESS MEDICAL ASSOCIATES(WMA)

1978年にアメリカのOBSにアウトドアでの医療トレーニングとリスクマネジメントを提供した団体で、それ以降、アウトドア指導者やリーダー、救助隊といった対象向けのコースを提供しています。主な受講者としては野外を職業としているプロフェッショナル・団体スタッフ、山岳ガイド、レスキューを職業とする人、ナショナルパークサービス、野外に関わる大学生、救急隊員、FBI、林業や山で働く労働者などです。

また、世界中のOBS各スクール、NOLSやYMCAといった北米の各野外団体、野外を学べる大学などが主催してコースが行われ、野外に関わる関係者の初めに取りべき最初の資格となっております。現在の状況ではアメリカやカナダなどに渡航をして、英語でコースを受け、資格を取らなければなりません。今回は日本語通訳を入れて行うコースとなっております。ぜひ、この機会に取得をして下さい。

開催日 2009年 3月31日(火)～4月3日(金)
開催地 国立日高青少年自然の家(北海道沙流郡日高町)
参加費 60,000円 学生 55,000円(税込み)

コース中の講習参加費、資料代、装備費、保険料を含みます。

また講習中、宿泊・食事の手配が必要な方は日高青少年自然の家を利用できます。
単価 1泊 250円 シーツ代 160円 朝食400円 昼食550円 夕食650円
(3泊4日 朝食3食、昼食4食、夕食3食、シーツ代)にて受付致します。
申込時にお申し出下さい。

対象 18歳以上の方。
定員 20名 (最小催行人数 8名)
内容 コースは36時間4日間で行われます。基本的には午前中は室内にての講義、ディスカッション、クイズ、午後は実技、シミュレーションなどを行い、学んでいきます。内容は、医療、傷病、神経系や循環系、呼吸系、骨などの人体について、雷、高温時、低温時、虫さされ、噛まれなどの環境・動植物といった知識の講義中心で、午後は応急処置や搬送の練習、シュミレーションといった実践形式で行われます。

資格 WAF Aコースを修了(テストに合格)された方はWMAより、3年間有効のWAF A修了証、アナフィラキシー修了証、アダルトCPR修了証が授与されます。また再講習(2日間)で延長可能です。さらに、ステップアップを希望の方は、3年以内にWAF A-TO-WFR BRIDGE COURSE 4日間に参加、修了されますとアウトドア・プロフェッショナルレベルのWFR(WILDERNESS FIRST RESPONDER)資格を取得可能です。



主催 財団法人 日本アウトワード・バウンド協会
協力 NPO法人 あそベンチャースクール

問い合わせ・申し込み受付 担当 浜谷
TEL 025-557-2211 FAX 025-557-2277
HP URL: <http://www.obs-japan.org> Email: info@obs-japan.org